



瀬戸内寂聴

文学特別展

寂聴 愛のことば展

平成27年4月25日(土)～5月31日(日)

●特別展示室・ギャラリー

一貫して「愛」を描き続けてきた瀬戸内寂聴の小説や随筆、説法などから、恋愛や生きていく指針になる言葉を選び、著書や原稿、関連する美術品などとともに展示します。

「寂聴が語る最新映像」上映会

●4月26日(日) 14:00～15:00

テーマ朗読会「寂聴作品を読む」

●5月9日(土) 14:00～15:00

講演会

●5月17日(日) 14:00～15:30

●講師／高橋源一郎(作家)

文学書道館で「愛」を語る

募集した作品(締切5月10日(日))のうち、優秀作品に選ばれた10人に朗読していただきます。

●5月23日(土) 14:00～15:00

文学企画展

羽尻利門 絵本の世界展

平成27年6月2日(火)～10日(水) 16時まで

●ギャラリー(観覧無料)

細密な描写と明るい色彩の風景や、生き生きとして愛らしい子どもの絵で人気を博している阿南市在住の絵本画家・イラストレーター羽尻利門(はじりとしかど)。最新刊『あいつとぼく』(辻村ノリアキ 作・羽尻利門 絵/PHP研究所)と『二十四節気のえほん』(西田めい 文・羽尻利門 絵/PHP研究所)を中心に原画を展示し、その作品世界を紹介します。

ギャラリートーク

●6月7日(日) 14:00～15:00

●講師／羽尻利門

文学特別展

戦後70年 文学に描かれた戦争—徳島ゆかりの作品を中心に

平成27年8月7日(金)～9月23日(水・祝)

●特別展示室・収蔵展示室

戦争がいかに名もなき市民の命を無残に奪い、家族の運命を狂わせるか。戦後70年の今年、瀬戸内寂聴や森内俊雄、海野十三ら徳島ゆかりの文学者の小説や詩、短歌、俳句などを紹介し、戦争を知らない世代に悲惨な戦争の記憶を手渡します。

テーマ朗読会「文学に描かれた徳島大空襲」

●8月9日(日) 14:00～15:00

展示解説

●8月29日(土) 14:00～15:00

●講師／富永正志(当館館長)

講演会

●9月13日(日) 13:30～15:00

●講師／柴崎友香(芥川賞作家、海野十三『敗戦日記』を取り入れた長編小説『わたしがいなかった街で』著者)

文学特別展

柴門ふみの世界

平成27年12月19日(土)～平成28年2月7日(日)

●特別展示室・ギャラリー・収蔵展示室

徳島市出身の柴門ふみは、等身大の男女の恋愛や仕事、青春を描いた「東京ラブストーリー」、「あすなろ白書」などで人気を博しました。直筆原画や資料とともに、漫画、エッセイ、小説と幅広く活躍する柴門ふみの魅力を紹介します。

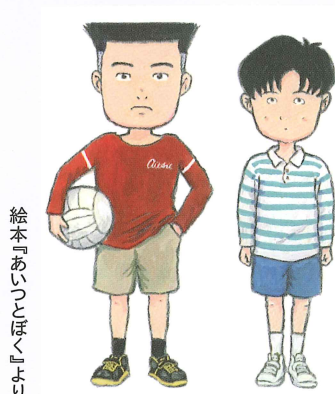
講演会

●12月19日(土) 14:00～15:30

●講師／柴門ふみ(漫画家、作家)

テーマ朗読会「柴門ふみのエッセイを読む」

●1月17日(日) 14:00～15:00



絵本『あいつとぼく』より



眉山山頂から撮影された空襲の焼け跡
(徳島県立文書館提供)



「眉山」が収められた森内俊雄著「マラナ・タ終篇」



柴門ふみ